

| |
|---|
| だ |
| い |
| こ |
| く |
| さ |
| ま |

| |
|---|
| に |
| た |
| す |
| け |
| ら |
| れ |

| |
|---|
| た |
| 白 |
| う |
| さ |
| ぎ |
| |

※つぎのむすび方(かた)でもよい。「ま」

学年

名前

| |
|--------|
| 小 二 |
| |

課題解説

いなばの白うさぎ

白ウサギが海(うみ)をわたろうと、だまして海にならばせたワニザメたちの背中(せなか)をわたったところ、おこったサメたちに、かわをはがされてしまいました。通(とお)りがかったかみさまたちが「海水(かिसい)で体(からだ)をあらって乾(かわ)かせ」と言(い)いました。でも、いたくなるばかり。後(あと)から来(き)た「おおくにぬしのみこと」というかみさまは「ま水(みづ)であらい、がまのほわたにくるまりなさい」と教(おし)えてくださいました。ウサギは元(もと)の白い毛(け)にもどりました。

「いなばの白うさぎ」は出雲神話(いずもじんじや)の一つで、「おおくにぬしのみこと」は七福神(しちふくじん)の一人(ひとり)です。